

北九州SDGs登録制度 第1次登録証交付式

11月16日（火）小倉北区の北九州市国際会議場で行われた「北九州SDGs登録制度 第1次登録交付式」に守田社長が参加しました。



北九州市は16日、国連が掲げる「持続可能な開発目標（SDGs）」に取り組む企業、法人を後押しする市独自の「北九州SDGs登録制度」の登録第1弾として、市内219事業者に登録証を交付しました。

その219事業者の中に**親和スチール**も入りました。

北九州SDGs登録制度とは

SDGsの達成に寄与する市内企業・団体を登録し、その取組みを「北九州市SDGs未来都市計画」との関連付けを行いながら「見える化」することで、市内企業・団体等のPR及びSDGsの普及・実践を図る制度です。

登録するとこんなメリットがあります

- 北九州市のホームページ等で自団体のSDGsの取組みをPRできます。
- 取組みのPRにより、自団体の認知度・価値が向上し、多様な人材の確保やビジネスマッチングによる新たな事業機会の創出等に繋がります。
- 社会問題の解決を自社の活動と関連付けることで、持続可能な成長・競争力の向上に繋がります。
- 北九州市の総合評価落札方式（工事）における加点や、有利な融資制度等の適用を受けることができます。
- 「SDGs経営サポート」に参加する金融機関からSDGsに関する支援を受けることができます。

? SDGsとは「Sustainable Development Goals」（持続可能な開発目標）

「誰一人取り残さない」をキーワードに、世界が抱える貧困、福祉、ジェンダー、経済、環境、平和などあらゆる課題を、全ての国をあげて2030年までに解決していくための17の目標です。

